

ビンカの4月中旬播種の作型における品種特性および露地観賞性評価

大槻優華・板橋優人

(園芸技術科)

【要 約】ビンカの4月中旬播種の作型では、出荷時評価は「F₁ タイタン アイシーピンク」など5品種、露地定植後の観賞性評価は「エクエイター レッド」など3品種が優れ、同作型の栽培品種として有望である。

【目 的】

ビンカ（ニチニチソウ）は乾燥に強く、夏花壇の定番品目である。本課題では4月中旬播種6月下旬出荷の作型における品種特性について調査し、同作型における有望品種を明らかにする。

【方 法】

17品種（表1）を供試した。2024年4月19日に、播種用培土TM2を充填した288穴セルトレイへ1穴1粒で播種し、5月13日、本葉2～4枚展開時に3.5号黒ポリポットへ1本定植した。栽培はガラスハウスで行い、暖房15℃、換気20℃で管理した。すべての品種で栽培中の摘芯は行わなかった。試験区は1区49株の2反復として、開花開始日から開花調査を行った。また5月上旬にシャーレ播種で発芽率を調査した。6月25日に1区12株（2反復）について出荷時の生育調査を行い、終了後に露地定植を行った。基肥はaあたり、分量でN=1.5 kg、P₂O₅=1.35 kg、K₂O=1.45kg、条間および株間は20 cmとし、1区12株（2区制）で定植した。自然条件下で栽培し、11月15日に露地観賞性の評価を行った。

【成果の概要】

1. 品種特性と出荷時評価：発芽率は70～100%で（表1）、セルトレイ播種による成苗率も概ね同程度であった（データ略）。開花は6月中旬から開始し、開花開始から全体の80%の株が咲き揃うまでの日数は1～5日で、「バリエント バーガンディ」は開花揃いに優れていた。出荷時の生育は、株高、株張などの株のサイズや揃いに品種間差がみられた。いずれの品種も節数および分枝数に差はみられなかったが、側枝の生育には品種間差がみられ、「F₁ タイタン アイシーピンク」は側枝の生育が良好で、側枝が開花した株の割合も多かった。以上より、花色や株の生育、揃い、側枝の生育などを総合的に考慮して、「F₁ タイタン アイシーピンク」など5品目が、高評価であった。
2. 露地定植後の特性評価：8月以降、台風や降雨により立ち枯れや生育不良が発生し、一部品種では最終的な健全株率が6割を下回ったが（表2）、健全株はいずれの品種も6～11月の栽培期間を通じて開花が継続し、定植時と比較して2～3倍の株サイズに生育した。図1の通り、外観から露地定植後の観賞性を評価したところ、「エクエイター レッド」など3品種で総合的に優れ、露地定植適性が高いと考えられた。

【残された課題・成果の活用・留意点】

本試験は単年度の、無摘芯栽培での成果であることに留意する。

表1 品種および発芽率と出荷時の特性評価

No.	品種名	種苗会社 ^a	花色	発芽率 ^b (%)	開花日		出荷時調査 ^c						評価 ^f (等級)
					開花開始	80%開花	株高 (cm)	株張 (cm)	開花数 (個/株)	花径 ^d (cm)	最大側枝長 (cm)	側枝の開花株率 ^e (%)	
1	エクエイター ブルー	サ	紫	77	6/13	6/18	19.6	21.8	3.6	5.7	7.9	0	
2	エクエイター ホワイトアイ	サ	白(赤目)	86	6/15	6/19	16.6	20.9	3.3	5.7	7.3	0	
3	エクエイター レッド	サ	赤	95	6/12	6/16	19.6	23.4	4.3	5.6	10.0	38	
4	F ₁ コーラXDR アプリコット	F	薄桃	99	6/13	6/16	19.4	21.3	3.4	6.3	8.5	13	
5	F ₁ コーラXDR ディープストロベリー	F	濃桃	100	6/14	6/17	21.2	21.8	3.3	6.1	9.9	13	
6	F ₁ コーラXDR ピンクハロ	F	濃桃	99	6/13	6/15	22.1	22.9	4.6	6.1	11.0	0	
7	F ₁ コーラXDR ボルカドット	F	白(赤目)	91	6/14	6/17	22.6	23.2	4.7	6.2	10.0	0	
8	F ₁ コーラXDR マジェンタハロ	F	紫	97	6/16	6/18	20.6	22.5	3.5	5.7	11.6	21	
9	F ₁ コーラXDR ローズパンチ	F	濃桃	98	6/15	6/17	22.8	23.1	4.7	6.1	9.2	4	
10	F ₁ タイタン アイシーピンク	ミ	薄桃	98	6/11	6/14	22.3	21.5	5.9	6.2	13.3	92	I
11	F ₁ タイタン ダークレッド	ミ	赤	99	6/13	6/16	21.9	23.9	3.7	6.1	11.2	21	
12	F ₁ タイタン ボルカドット	ミ	白(赤目)	96	6/12	6/16	20.4	20.7	5.5	6.1	10.3	0	II
13	F ₁ タイタン ラベンダーブルーハロ	ミ	薄紫	70	6/13	6/15	21.5	21.6	6.0	6.4	10.3	8	III
14	パシフィカXP アプリコット	タ	薄桃(赤目)	99	6/13	6/15	20.7	22.3	6.0	5.7	12.9	54	III
15	パシフィカXP ボルカドット	タ	白(赤目)	98	6/10	6/14	19.4	18.5	6.5	6.1	9.3	0	III
16	パシフィカXP リアラーレッド	タ	赤	95	6/15	6/17	21.0	23.0	4.0	5.9	11.5	21	
17	バリエント バーガンディ	ミ	赤	99	6/15	6/16	25.8	21.7	5.5	6.0	10.9	0	

脚注) 定植用土は、赤土：腐葉土：牛糞堆肥＝5：4：1（体積比）の混合用土を用い、基肥は用土100ℓ当たり、被覆複合肥料12-10-11（マイクロロングトータル 100タイプ）＝300g、化成肥料6-40-6（マグアンプK中粒）＝200g、過リン酸石灰0-17-0＝250g（用土100ℓ当たり成分量でN＝48g、P205＝152g、K20＝45g）とした。表中の数値は平均値。

a) 種苗会社 サ：(株)サカタのタネ、タ：タキイ種苗(株)、ミ：(株)ミヨシグループ、F：FSブルーム(株) b) シャーレでの発芽試験。50粒×2反復、室温、自然日長条件 c) 下線は、標準偏差を基準として相対的にばらつきの小さい値（基準 株高：0.9<、株張1.0<、開花数：0.75<、花径：0.3<、最大側枝長：2<） d) 株の中で最も花径が大きい花弁1個を計測 e) 調査時に側枝に開花した花がある株の割合 f) 第67回東京都野菜・花き種苗改善審査会審査結果（2024年6月24日実施）

表2 露地定植後の生育および観賞性評価

No.	健全株率 ^a (%)	株高 (cm)	株重 ^a (g/株)	地面の ^b 被覆程度	開花量 ^c	花の ^d 観賞性	枝枯れ ^e 程度	評価 ^f
1	100	71.5	387.1	2.0	3.5	2.0	2.0	
2	58	51.4	290.0	3.0	1.5	3.0	3.5	
3	92	65.3	393.1	3.5	3.5	4.5	1.5	○
4	63	50.4	247.4	3.0	3.0	2.5	1.5	
5	79	55.1	348.3	3.5	4.0	3.5	1.5	○
6	96	60.3	350.8	2.5	2.5	2.5	3.0	
7	54	62.2	190.5	2.0	2.5	2.5	3.0	
8	83	61.6	296.3	2.5	4.0	3.5	2.0	
9	96	68.1	391.2	3.0	3.5	3.5	1.0	
10	92	61.7	451.9	3.0	4.0	3.5	1.5	
11	96	69.2	279.7	3.0	4.5	3.5	2.0	
12	75	64.7	377.4	3.0	4.5	4.0	1.5	
13	79	63.3	368.1	3.5	3.5	4.0	1.0	○
14	83	55.3	321.1	3.0	3.0	3.0	2.0	
15	92	54.0	315.4	2.0	4.5	3.5	2.5	
16	100	62.4	488.3	3.0	3.0	2.5	0.0	
17	96	83.3	401.0	3.5	5.0	2.5	0.5	

a) 100g未満を枯死・生育不良株、100g以上を健全株として、株重は健全株のみの平均で算出した b) 植物体で地面が隙間なく覆われた状態を良好とし、1（不良）～5（良）の5段階で評価 c) 株あたりの花数を1（少）～5（多）の5段階で評価 d) 花卉の発色、大きさ、揃い、色抜けなど障害の有無を総合的に評価し、1（不良）～5（良）の5段階で評価 e) 枝枯れの発生程度を外観から判断し、1（少）～5（多）の5段階で評価 f) 露地定植後の生育と観賞性を総合的に評価し、優れた品種を○とした



図1 露地定植後の様子

脚注) 8月7日撮影。地面の被覆程度の評価が異なる3品種。(左)：高、(中央)：中、(右)：低